



代表取締役社長  
古川 健一



### 0.1 第2四半期の全体業績と各事業の状況について教えてください。

第2四半期は、国内、海外ともに米中貿易摩擦等の政策要因により、各地域とも輸出や生産活動に弱さが見られ、当初計画を下回る進捗となりました。

工作機械事業は、高度化、自動化へのニーズは依然として高いものの、米中貿易摩擦による設備投資判断の先送りや、スマートフォン、電子部品向け需要の減少及び、自動車関連も弱さが見られ、放電加工機の販売が大きく減少しました。その一方で、北米の航空宇宙関連、医療機器関連は引き続き堅調だったほか、タイ、インド、ベトナムでは自動車関連を中心に底堅く推移しました。

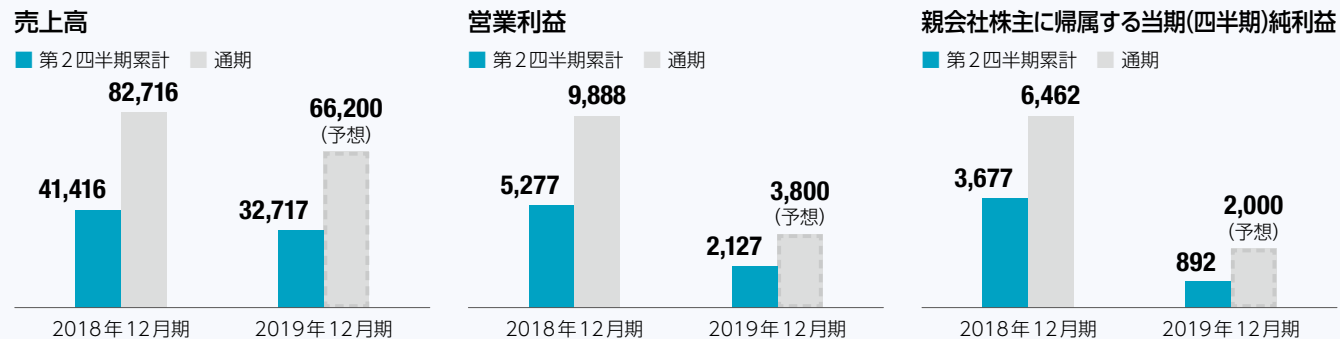
産業機械事業では、コネクタやセンサー部品など自動車

関連の需要が、国内を中心に堅調に推移したものの、工作機械事業同様に、設備投資の鈍化が顕在化し、スマートフォン、電子部品関連の需要に一服感が見られました。しかし、光学レンズの成形や防水対応用シリコン成形機、5G対応インフラ整備といった新たな需要が出始めています。また、医療機器関連では北米で堅調な需要が継続しました。

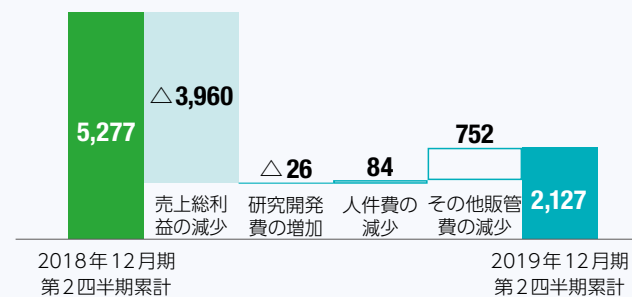
食品機械事業では、高品質な調理麺の製造設備需要が引き続き堅調に推移したほか、包装米飯製造装置の需要も国内外で増加しています。また、衛生面や省人化を目的とした自動化設備の需要も拡大しました。しかし、受注が下期以降にずれ込んだ案件もあり、売上高、セグメント利益ともに伸び悩みました。

以上の結果、第2四半期の業績は、売上高327億17百万円、営業利益21億27百万円、経常利益20億73百万円、当期純利益8億92百万円と前年同期比で大きく減少しました。

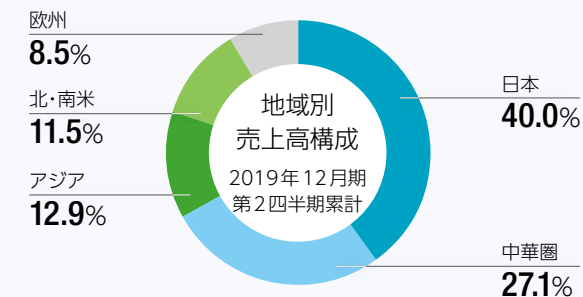
### ■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



### ■ 営業利益変動要因



### ■ 地域別の売上高構成



## Q.2 当期の重点施策とその進捗はいかがでしょうか。

ソディックブランド強化のため積極的な営業活動を展開。

営業面では、東京ビッグサイトで開催されたINTERMOLD2019／金型展2019や、中国・北京での世界的な工作機械見本市のCIMT2019など、国内外の展示会に出展しソディックブランドの強化・シェア拡大に向けた取り組みを推進しました。

技術面では、新電源、新世代CNC等の新たな要素技術の開発、金属3Dプリンタ関連の研究開発、次世代技術の開発強化を進めており、金属3Dプリンタの加工では避けて通れない造形物内部の残留応力を抑制する新技術「SRT工法」を開発し、特許を取得しました。この技術により、プラスチック成形金型部品への造形適用範囲を大きく広げることが可能となりました。今後も3Dプリンタの拡販に注力してまいります。

## Q.3 足もとの市場環境及び通期の業績見通しについてお聞かせください。

下期以降も、世界的な景気弱含みの継続が予想されるため、通期業績計画を修正。

全社を挙げて、業績確保に努めてまいります。

米中の通商問題、英国のEU離脱問題などを発端とする世界的な景気の弱含みにより、第2四半期の業績は、期初の業績予想に対し大幅な未達となりました。下期以降も景気の停滞が継続することが見込まれるため通期業績予想を以下のように修正いたしました。

工作機械事業は、中国をはじめ、各地域において厳しい状況が続くと予想される一方で、産業機械事業は、光学レンズやシリコン成形需要、5G対応の需要の取り込みにより、下期はやや回復基調となることが見込まれ

ます。また、食品機械事業は、製麺機、包装米飯製造装置の検収が下期に予定され、売上高、利益ともに回復する計画です。

全体としては弱含まれる市場において、各事業セグメントにおいてできるだけ業績確保に努めるとともに、需要の増加が見込まれる分野などを中心に業績の拡大に励んでまいります。

(単位:百万円)

	2019年12月期通期業績予想		増減
	期初計画	修正計画	
売上高	76,800	66,200	△10,600
営業利益	6,900	3,800	△3,100
経常利益	6,400	3,600	△2,800
当期利益	4,700	2,000	△2,700

## Q.4 株主還元のお考えと株主様へのメッセージをお願いします。

株主資本配当率2%以上を目標として、将来の事業展開と経営体質の強化のための内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としています。当期の中間配当は1株につき12円とさせていただき、期末配当は、13円(年間配当は前期比1円の増配)を予定しております。

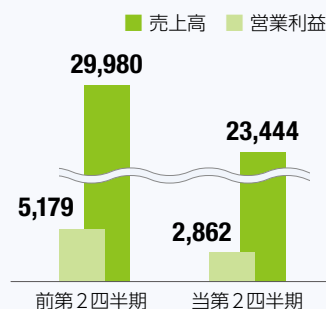
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ セグメント別の概況 (単位:百万円)

### 工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

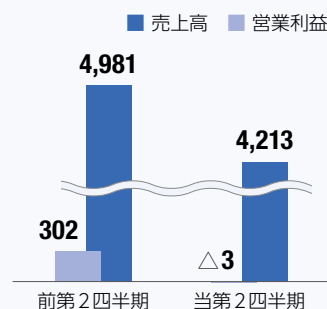
- 中国・日本・アジア・欧州／放電加工機の販売が大幅に減少
- 北米／航空宇宙関連、医療機器関連が堅調
- アジア／自動車関連を中心に底堅く推移



### 産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

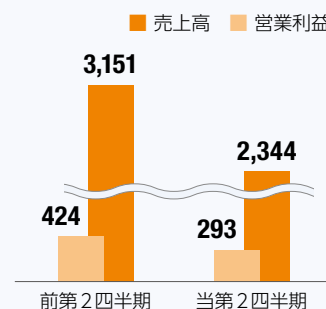
- 自動車関連／日本での需要堅調
- スマートフォン・電子部品関連／中国・アジアの需要に一服感
- 医療機器関連／北米での需要堅調



### 食品機械事業

種製造プラント、製麺機、包装米飯製造装置等の食品機械の開発・製造・販売

- 高品質な調理種の製造設備需要が堅調
- 国内外での包装米飯製造装置の需要増
- 自動化設備の需要拡大
- 受注のずれ込みにより、売上高、利益ともに伸び悩み



### その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミックス製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、当社製品等のリース

- 自動車関連で一服感があり金型成形事業売上高減少
- セラミックスの販売も半導体製造装置向けが減速
- 中長期的な事業拡大に向けた製造設備の能力増強が先行

